

## ❖ 七ヶ浜町支援事業の報告 ❖

日時 平成26年2月6日（木）午前10時30分  
場所 七ヶ浜町役場（宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5番地の1）  
目的 被災した小中学生への支援  
金額 10万円  
派遣者 会長 落合 勝 理事 後藤三千男  
柏市防災安全課副参事 藤崎 康行  
対応者 教育長 武田 光彦 教育総務課長 赤間 長一  
七ヶ浜町立亦楽小学校長 遠藤真理子（町立小中学校長会長）

七ヶ浜町は、松島湾の南西に突き出した半島状の形状をしています。面積は13.27km<sup>2</sup>、人口は19,808人（H25.10.1現在）です。東日本大震災では、震度5強でしたが、津波の最高位は12.1mで津波浸水面積は約4.8km<sup>2</sup>（町面積の36.4%）に達しました。死者行方不明者は、94名にのぼりました。建物被害は全世帯の6割にあたる3,923世帯が被災しました。現在1,000人前後の被災者が7か所の仮設住宅で生活しています。

対応していただいた教育長はじめ3名の方のお話を聞き、いかに甚大な災害であったのかを改めて知ることとなりました。発災当時、町の職員は昼夜を分かたぬ献身的な対応に追われ、刻々と変わる被災者への支援に心身ともに困憊していた状況を知り、頭が下がる思いでした。

七ヶ浜町はそうした厳しい状況を経て、今は町をあげて未来に向かって力強く前進しています。そんな中で、未来を生きる子供たちのために少しでも元気に学校生活を送れるよう、このたびこの支援を実施しました。



義援金を教育長へ贈る